

国際広報メディア・観光学専攻

観光創造研究コース

令和7年度
後期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25 字×40 行＝1000 字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
8. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題について、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で改行して段落に分けること。また、字数は改行のための空気を含めて計算する。

近年、人工知能（AI）の発展は著しく、私たちの暮らしに大きな変化をもたらしつつあります。こうした中、観光をめぐる諸課題の解決のための AI 活用にも期待が高まっています。そうした AI 活用には、どのようなメリットとデメリットが存在すると思いますか。観光をめぐる課題を具体的に挙げつつ、あなたの考えを論理的に述べて下さい。